マチミチコンペIN
大宮ウォーカブルシティ
MACHI MICHI COMPETITION

募集要項

【主催】

さいたま市

【協力】

アーバンデザインセンター大宮

内容

1　はじめに.....3
2　本コンペの位置づけ.....4
3　募集内容等.....5
3.1　提案に求めるテーマと考え方.....5
3.2　提案部門.....8
3.3　提案対象区域.....11
3.4　参加資格.....12
3.5　応募作品の提出方法等.....12
4　審査.....13
4.1　審査方法と審査の流れ.....13
4.2　審査委員会.....13
4.3　審査の視点.....14
4.4　審査結果の公表等.....14
5　質問及び回答.....15
6　説明会.....15
7　スケジュール.....15
8　その他.....16
9　参考資料.....18
10　問合せ先（事務局）.....18

1　はじめに

この度は、「マチミチコンペ in 大宮ウォーカブルシティ」にご興味をお持ちいただきありがとうございます。

元来、日本の街路は人々が出会い、交流を図る地域のコモンスペースとしての役割を果たしてきました。

かつて、中山道の宿場町として栄えた大宮も、その歴史的背景により、路地に代表されるような独自の街路網が形成され、それらを起点に大宮独自の文化や雰囲気を形成してきました。

一方で、高度経済成長期を迎えた日本では、街路はクルマ中心の空間となり、大宮でも、限られた空間を人とクルマが共存するようになりました。

そして、現在、街路に求められる役割は大きく変化し、原点ともいうべきコモンスペースとしての在り方が再び注目されるようになってきました。

本コンペでは、今後、大宮が人中心で居心地が良く歩きたくなる「ウォーカブル」なまちとなることで、人々が行き交い、様々な出会いと交流が生み出される場所となるような、新しいアイデアを募集します。

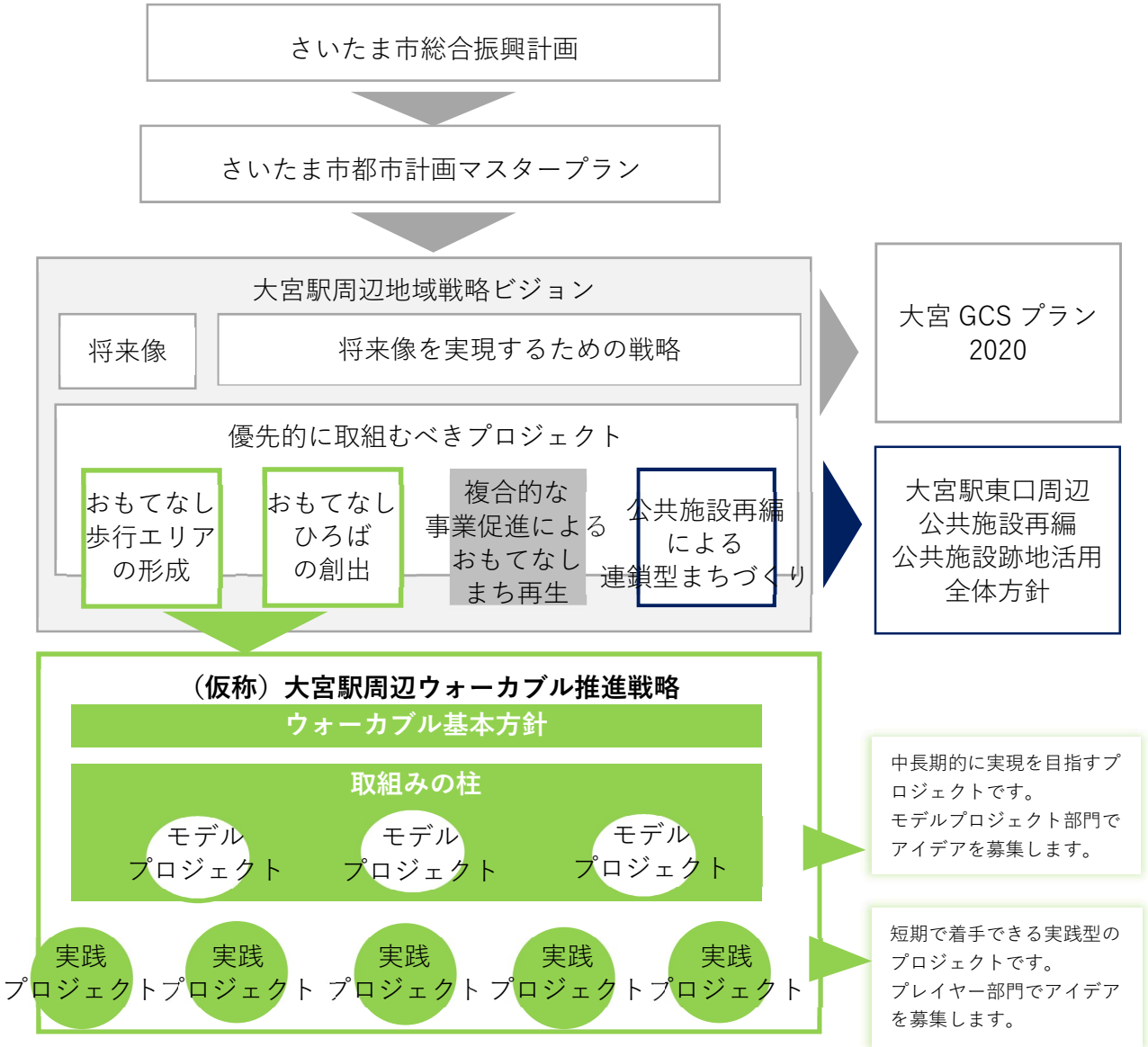
皆様の提案を心よりお待ちしております。

2　本コンペの位置づけ

本市では、平成 22 年に策定した「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」において、「おもてなし歩行エリアの形成」や「おもてなしひろばの創出」等を優先的に取り組むべきプロジェクトとして位置づけ、道路幅員の再構築や美装化に取り組んでいます。また、アーバンデザインセンター大宮では、道路空間等の利活用にも積極的に取り組んでいます。

この度、本市では、こうしたウォーカブルな取り組みをより一層推進していくため、「(仮称) 大宮駅周辺ウォーカブル推進戦略（以下、「推進戦略」という。)」を作成することとしました。

本コンペは、推進戦略のモデルプロジェクトと実践プロジェクトとして位置付ける事業のアイデアを募集するとともに、私たちさいたま市や、アーバンデザインセンター大宮等と一緒に大宮のまちづくりに取り組んでいただける方を募集するものです。



3　募集内容等

3.1　提案に求めるテーマと考え方

【テーマ】

大宮の歴史・文化等の「大宮らしさ」を活かした、
人中心で居心地が良く歩きたくなる「ウォーカブル」なまちづくり

【考え方】

「（仮称）大宮駅周辺ウォーカブル推進戦略」では、国土交通省都市局・道路局が発出する「ストリートデザインガイドライン（バージョン 2.0／R3.5）」で示される『人中心のストリートを構成する４つの要素』の考え方を基本としつつ、『大宮らしさ』を活かした施策や考え方を推進戦略に位置付けていく予定です。

以下に、その考え方の一部を記載しますので提案の参考としてください。

なお、提案においては、ハード整備を伴う提案に限らず、ソフト面からウォーカブルに寄与する提案など、自由な発想の提案を求めます。

■ 人中心のストリートを構成する４つの要素とその考え方

① ストリートの空間配分

・ストリートの空間構成は、通行のために「リンク機能」と滞在するための「プレイス機能」の２つの側面がある。

・歩行者・自動車、加えて自転車や新たなモビリティとの上手な共存・調和や沿道を含めた一体的な空間配分等が求められる。

←ストリートを構成する２つの機能（出典：ストリートデザインガイドライン）

② ストリートのデザインと設え

・デザイン・設えは、公共施設としての街路の路面のみならず、周辺の広場空間や公開空地、沿道建物等も含め、一体的な空間として捉える必要がある。

・デザイン・設えは、アクティビティを踏まえ検討するとともに、空間の使いやすさや運営等のマネジメントの視点も考慮する必要がある。

↑歩道を構成する 4 つの面（出典：ACTIVE DESIGN）

③ ストリートにおけるアクティビティ

・「居心地が良く歩きたくなる」ストリートは、余暇的な性格の「任意活動」とコミュニケーションを含む「社会活動」が日常として豊かに繰り広げられている必要がある。

↑都市空間におけるアクティビティの 3 分類（出典：ストリートデザインガイドライン）

④ ストリートにおけるプレイヤー

・ストリートを自ら居心地よく使うような、当事者としてのプレイヤーを増やし、育成していくことが求められる。

■ 本コンペの提案において留意していただきたい「大宮らしさ」

これまで、本市では「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」や「大宮 GCS プラン 2020」、「大宮駅東口周辺 公共施設再編／公共施設跡地活用 全体方針」等において、まちづくりの視点や課題を整理しています。詳しくは、後述の「9　参考資料」をご確認ください。

こうした各種計画で整理している内容を踏まえつつ、提案者の考える「大宮らしさ」を活かした提案を求めます。

なお、以下の路線では、地元の協議会等と再構築に向けた検討を進めています。本提案においては、これまでの検討内容を前提とすることとします。詳細は以下のホームページでご確認ください。

〇一の宮通り
https://www.city.saitama.jp/001/010/015/004/006/005/index.html
〇南銀座通り
https://www.city.saitama.jp/001/010/015/004/006/006/p083152.html
〇大宮停車場大成線
https://www.city.saitama.jp/001/010/015/004/003/p082135.html

一の宮通り将来イメージ
（一の宮通りまちづくりのルール）

大宮南銀座通り将来イメージ

大宮 GCS プラン２０２０

3.2　提案部門

提案内容は、本市のウォーカブル施策として実現していくことを目指し、モデルプロジェクト部門とプレイヤー部門の２部門で提案を募集します。

（1）モデルプロジェクト部門

■提案に求めるもの

・モデルプロジェクト部門は、大宮駅周辺におけるウォーカブルなまちづくりを推進するための具体的な施策を募集するアイデアコンペです。

・推進戦略の柱として検討している以下の項目に関連する施策（アイデア）をご提案ください。（複数に関連する施策でも構いません。）

推進戦略の柱（案）

①まちとまちの回遊性／まちの中での回遊性

（例）・駅東西の回遊性

・さいたま新都心や氷川神社、大宮公園、鉄道博物館等の地域資源・拠点施設との広域的な回遊性

・健康の面から歩数を増やす取組　等

② まちの滞在性

（例）・街路の断面構成を見直しするアイデア

・まちに開かれたアイレベル（グランドレベル）の形成

・広場空間、滞在空間の形成　等

③ みちの質やまちの魅力が維持する仕組み

（例）・地域のつながりや活動を支える仕組み

・担い手を育成する仕組み

④ その他

・上記以外に、提案に求めるテーマの実現に寄与できるアイデア

■見据える時点

・中長期（2040 年まで）で実現可能なもの

■提案内容及び提案者の取扱い

・優秀作品等に選出された提案は、推進戦略に「モデルプロジェクト」として位置づける前提で検討します。

・モデルプロジェクトの実現に向けては、今後の調査・検討を行う際のアドバイザー、具体的な取組に係る検討メンバーとしての協力等を依頼することを想定しています。（※予算状況や提案内容に応じ個別協議させていただきます。）

■提出物

（1）応募作品

・A1 判パネル（594 ㎜×841 ㎜）　1 枚

※横長方向、片面で使用してください

※材質・紙質は自由ですが、耐久性に考慮してください

※厚さは 5 ㎜程度の厚さのパネルに貼って提出してください

・なお、以下の事項は必ず記載・表現してください

①作品タイトル

②コンセプト及びその設定理由

③選択した推進戦略の柱番号（複数可）

④アイデアを実現化するためのプロセス

（2）応募作品提出票（様式２）

（3）提案趣旨説明書（様式３）

・800 字程度にまとめてください。図面等を使って分かりやすく表現してください。

（4）電子データ

（1）（2）（3）を PDF 形式でデータ化し、CD 又は DVD に記録したもの

■賞と賞金

・最優秀賞：賞金 50 万円（1 作品）

・優秀賞　：賞金 25 万円（1 作品）

・入賞　　：賞金 5 万円（3 作品）

（2）プレイヤー部門

■提案に求めるもの

・プレイヤー部門は、提案者が、「大宮のまちでこんなことがやりたい！」というプロジェクトをご提案いただく、プレイヤー発掘型の企画提案です。

・以下の項目を踏まえた提案を募集します。

①活動を実施する具体的な場所

・提案の活動を実施する具体的な公共空間等

②活動を持続させるためのアイデア

・一過性のイベントではなく、活動を持続させるためのアイデア

③活動を実施するまでのプロセス

・提案の活動を誰がどのように実現していくのか等の実施に向けたプロセス

■プレイヤー部門が見据える時点

・プロジェクトスタートまで、短期（1～3年程度）で取り組めるもの

■提案内容及び提案者の取扱い

・優秀作品等に選出された提案は、推進戦略に「実践プロジェクト」として位置づける前提で検討します。

・実現にあたっては、市が社会実験等として位置付けることで行政手続き等のサポートを行うほか、都市再生推進法人でもあるアーバンデザインセンター大宮の協力・サポートを受けて実施していくことなどを想定しています。

■提出物

（1）応募作品

・A3判パネル（297㎜×420㎜）1枚

※横長方向、片面で使用してください

※材質・紙質は自由ですが、耐久性に考慮してください

・なお、以下の事項は必ず記載・表現してください

①作品タイトル

②アピールポイント

（2）応募作品提出票（様式2）

（3）電子データ

（1）（2）をPDF形式でデータ化し、CD又はDVDに記録したもの

■賞と賞金

・入賞：賞金5万円（5作品）

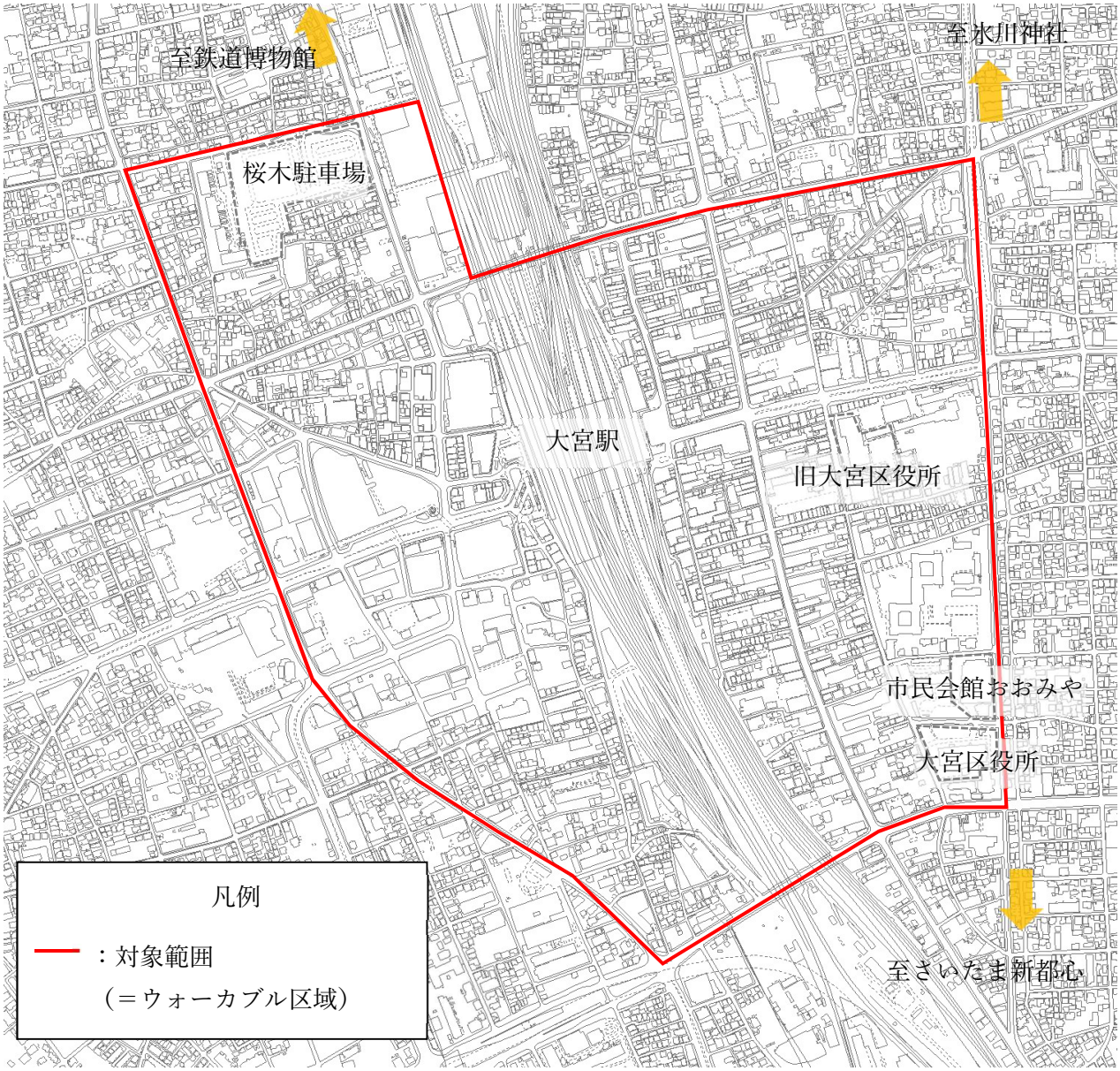
・会場人気投票特別賞　賞金10万円（入賞作品の中から選ばれた1作品）

3.3　提案対象区域

・提案の対象は、都市再生整備計画（大宮駅周辺地区（第２期））に滞在快適性等向上区域（以下、「ウォーカブル区域」という。）に指定している以下のエリアの公共施設等（※）を基本とします。

・さいたま新都心との連携など、ウォーカブル区域外へ波及する提案も可とします。

※本コンペにおいて、公共施設等とは、道路、公園のほか、それらと接する沿道の民間敷地、さらには沿道の建築物等土地利用を含めた空間全体のことをさします。（別途検討が進められている大宮区役所跡地や市民会館おおみや跡地などの公共施設跡地や桜木駐車場については、今回の提案対象からは除外します。）



3.4　参加資格

個人、グループ、企業、団体いずれも応募できます。国籍、年齢、資格等も問いません。

※グループ、企業、団体（以下、「グループ等」という。）で応募する場合、そのメンバーは１つのグループのみでの応募としてください。

3.5　応募作品の提出方法等

（１）事前登録

令和３年８月５日（木）~令和３年 11 月 30 日（火）

＜提出方法＞

様式１により、事前登録票をメールもしくは FAX（宛先は、「１０　問い合わせ先（事務局)」を参照）

※事前登録がない場合でも応募可能ですが、上記期間を過ぎてしまった場合は、事務局までご連絡ください。

（２）応募受付

令和３年 12 月１日（水）~令和３年 12 月 24 日（金）

＜提出方法＞

事務局まで郵送いただくか、直接ご持参ください。（送付先は、「１０　問い合わせ先（事務局)」を参照）

（３）その他

① 使用言語は日本語とします。

② 応募作品の損傷が著しく、審査にたえない場合は再提出を求めることがあります。

③ 文章等は、読みやすいように配慮してください。判読不能の場合は、審査を行わない場合があります。

④ 応募された作品は返却しません。

⑤ 応募に係る一切の費用は応募者の負担とします。

⑥ 同一の個人、同一のグループ等による複数の応募はできません。また、両方の部門への応募もできません。

⑦ 審査において匿名性を確保するため、応募作品には応募者や所属等が特定できる内容の記載やサインを入れないでください。

⑧ 提案に当たっては、土地所有者等の権利者の名誉を傷つけるような表現は避けてください。

4　審査

4.1　審査方法と審査の流れ

①１次審査（令和４年１月中旬）

・全応募作品の中から、それぞれの部門で二次審査に進む作品を 5 作品程度選定します。

・１次審査通過者には、個別に公開プレゼンテーションの案内を通知します。

※公開プレゼンテーションに参加できない場合、2 次審査に進めません。

②公開プレゼンテーション（令和４年２月 19 日（土））

・市民会館おおみや小ホールにて、公開プレゼンテーションを行います。

・時間は、モデルプロジェクト部門では、発表 10 分、質疑 10 分の計 20 分程度、プレイヤー部門では、発表 5 分、質疑 5 分の計 10 分程度を予定しています。

・プロジェクター、スクリーンを用意しますので、各自パソコン等を用意していただき、応募したパネルデータの他、Microsoft Power Point 等によるスライドが使用できます。

③二次審査（令和４年２月 19 日（土）※公開プレゼンテーションと同日）

【モデルプロジェクト部門】

・公開プレゼンテーション後、審査委員会による最終審査を経て、各賞を決定します。

【プレイヤー部門】

・審査委員を含む会場の人気投票により、特別賞を決定します。

4.2　審査委員会

以下の有識者による審査委員会を組織し、審査を行います。

なお、公開プレゼンテーションを除き、審査は非公開で行います。

区分	氏名（敬称略）	所属等
委員長	馬場　正尊	株式会社オープン・エー　代表取締役 東北芸術工科大学　建築・環境デザイン学科教授
委員	小嶋　文	埼玉大学　理工学研究科准教授
委員	川村　郁夫	さいたま商工会議所 常議員（街づくり・観光委員会 委員長）
委員	田中　元子	株式会社グランドレベル　代表取締役社長
委員	今　佐和子	国土交通省関東地方整備局建政部　都市整備課長
委員	小川　博之	さいたま市　副市長

4.3　審査の視点

下記の評価項目での審査を予定しています。

※審査の視点は、審査委員会の判断により変更・追加される場合があります。

※審査結果について質問や異議には応じられません。

（1）モデルプロジェクト部門の評価項目

評価項目	評価内容
①先見性	未来を見据えた提案になっているか。
②地域性	大宮らしさが感じられる提案になっているか。
③発展性	新たな交流の誘発・他地域への効果の波及など、発展性のある提案になっているか。
④実現性	実現するためのプロセスやスキームが明確になっているか。

（2）プレイヤー部門の評価項目

評価項目	評価内容
①実現性	実現するためのプロセスやスキームが明確になっているか。
②持続可能性	日常的に展開・継続していく提案になっているか。
③地域貢献度	地位経済やまちづくりに寄与する提案となっているか。
④独創性	アイデアのおもしろさ、他のアイデアと差別化ができているか。

4.4　審査結果の公表等

（1）応募作品の公開

応募作品の全てもしくは一部、審査結果等をさいたま市の HP や SNS、公共施設等で展示する予定としています。

（2）応募作品集の作成

応募作品の全てもしくは一部は、本コンペの実施記録と共に冊子化を予定しています。

※応募作品（失格等、審査対象外となったものを除く）の①作品タイトル、②氏名、③住所（市区町村まで)、④職業・所属等を掲載する予定です。また、入賞作品については、①～④に加え、応募作品を画像データとして縮小したもの等を掲載する予定です。

5　質問及び回答

本コンペに関する質問の受付及び回答は、以下のとおりとします。

5.1　受付

受付期間：令和 3 年 8 月 5 日（木）　～　令和 3 年 9 月 30 日（木）

受付方法：質問票（様式 4）を、E-mail で事務局へ提出してください。

※原則、電話による問合せにはお答えできません。

5.2　回答

回答は、適宜ウェブサイトに掲載し、最終回答は令和 3 年 10 月上旬を予定しています。

5.3　質問内容

質問内容は、本募集要項及び提出等に関するもののみとし、審査（評価）に関する質問は受け付けません。

6　説明会

説明会日時：令和 3 年 9 月 13 日（月）16 時 00 分~17 時 00 分

場所：大宮区役所 6 階　601 会議室

申込期限：令和 3 年 9 月 6 日（月）まで

受付方法：説明会申込書（様式 5）を、E-mail で事務局へ提出してください。

※これまでの市の取組やまちづくりの進捗状況等に関する説明を予定しています。

※グループの場合、2 名までの参加となります。

7　スケジュール

項目	時期
募集要項公表	令和 3 年 8 月 5 日（木）
説明会	令和 3 年 9 月 13 日（月）
事前登録期間	令和 3 年 8 月 5 日（木）~令和 3 年 11 月 30 日（火）
質問受付期間	令和 3 年 8 月 5 日（木）~令和 3 年 9 月 30 日（木）
質問回答（最終）	令和 3 年 10 月上旬
応募受付	令和 3 年 12 月 1 日（水）~令和 3 年 12 月 24 日（金）
1 次審査	令和 4 年 1 月中旬
1 次審査結果通知	令和 4 年 1 月下旬（予定）
公開プレゼンテーション 2 次審査・表彰式	令和 4 年 2 月 19 日（土） （場所：市民会館おおみや　小ホール）

8　その他

8.1　個人情報の取扱

コンペの実施に係る個人情報については、「さいたま市個人情報保護条例（平成 13 年条例第 18 号）」に基づき、適切に取扱います。

8.2　失格

以下の事項に該当する作品については、審査対象から除外します。また、入選発表後であっても入選の取消や賞の返却を求める場合があります。

① 応募作品提出票（様式 2）の記載内容に明らかな虚偽があるもの
② 応募期限内に提出されなかったもの
③ 既に発表された作品と同一または類似のもの、あるいは著作権・意匠権等、知的財産権の侵害であることが明確となったもの
④ その他、当募集要項の内容に明らかに違反するもの

8.3　知的財産権及び応募作品の取扱等

以下の事項をあらかじめご理解いただいた上で、応募してください。

（著作権等の帰属等）

①　応募作品の著作権・意匠権等の知的財産権（以下「著作権・意匠権等」という）は、応募者に帰属します。したがって、応募者が応募作品について著作権・意匠権等に関する権利の取得または然るべき保護を必要とするときは、自らの責任でその手続きをするものとし、応募作品についての権利の登録状況、使用実績・第三者への利用許諾の有無および内容を応募時に明記してください。

（著作物等の引用等）

②　応募者が、他者が著作権・意匠権等を有している著作物等を応募作品の中で引用し、本コンペに応募し、第④～⑥項に基づいて、さいたま市が当該応募作品を使用することにより、当該他者との間で著作権侵害等のトラブルが発生した場合の責任は、全て応募者が負うこととします。したがって、他者が著作権・意匠権等を有する著作物等を応募作品中に引用する場合、必要に応じて、当該著作権・意匠権等の利用許諾、対価の支払、著作者人格権の不行使の同意等の然るべき手続きは、応募者自身で行ってください。

（著作者人格権の不行使）

③　応募者は、第④～⑥項に基づくさいたま市による応募作品の使用に対し、著作者人格権の行使をしないものとし、応募作品中に引用された著作物の著作者に著作者人格権の行使をさせないものとします。

（作品の使用等）

④　応募者には、さいたま市が、応募作品およびその著作権・意匠権等の全てま

たは一部を、さいたま市のまちづくりの検討に無償で使用することを許諾していただきます。また、提案内容を含め応募作品の内容を一部改変して無償で使用することも許諾していただきます。使用にあたっては、さいたま市が、広報活動等で使用を必要とする場合、種々の媒体を通して無償で応募作品を使用することを許諾していただきます。

⑤　応募作品は、展示や作品集の発行などの方法により、公開(電子メディアによる公開も含みます)することを予定しています。

⑥　前２項の場合のほか、さいたま市が、応募作品を審査、記録等のために複製することを許諾していただきます。

（同意事項）

⑦　応募者(グループ等での応募の場合はグループ等の構成員全員)は、このコンペに応募することによって、ここに記した事項に同意したものとみなします。

8.4　その他

当募集要項の内容について、変更があった場合は、ウェブサイトに掲載します。審査委員会の決定事項に異議を申し立てることはできません。

9　参考資料

資料は、個別には提供しませんが、以下のウェブサイトからダウンロードできます。

・マチミチコンペ in 大宮ウォーカブルシティ　募集要項等
https://www.city.saitama.jp/001/010/015/004/006/006/p082343.html

・さいたま市都市計画マスタープラン
https://www.city.saitama.jp/001/010/014/002/p002341.html

・大宮駅周辺地域戦略ビジョン
https://www.city.saitama.jp/001/010/015/004/001/003/p011083.html

・大宮駅東口周辺 公共施設再編／公共施設跡地活用 全体方針（2018.10）
https://www.city.saitama.jp/001/010/015/004/006/008/001/p061470.html

・大宮ＧＣＳプラン 2020
https://www.city.saitama.jp/001/010/015/004/007/001/p080137.html

・大宮駅周辺都市再生整備計画（第２期）
https://www.city.saitama.jp/001/010/015/001/p007239.html

・アーバンデザインセンター大宮
http://www.udco.jp/

・ストリートデザインガイドライン（国土交通省）
https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_gairo_fr_000055.html

（その他データ）

・さいたま市統計書（令和２年版）
https://www.city.saitama.jp/006/013/001/005/p072544.html

・さいたま市地図情報
https://www.sonicweb-asp.jp/saitama_c/

・さいたま市地形図
https://www.city.saitama.jp/001/010/014/008/p047050.html

10　問合せ先（事務局）

〒330-8501
さいたま市大宮区吉敷町１丁目 124 番地１大宮区役所６階
さいたま市都市局都心整備部大宮駅東口まちづくり事務所
TEL　048-646-3291　　FAX　048-646-3292
E-mail　omiya-higashi-machidukuri@city.saitama.lg.jp

マチミチコンペ
IN 大宮ウォーカブルシティ
MACHI MICHI COMPETITION